



Grand Prince Hotel
Takanawa

1/2

Apr. 5, '17

三浦肇先生

木花元晴

拝復 『空から見た秋吉台』、御出版、
ご苦労のこと、不図楽しんで上様に至った
こと、おしく感ぜられます。

ほくは地形学が案内と行ったことに結果
のことですが、喜ばしいことだと、老境にわたる
かた地形は多くの学生達を強く魅き
つけるものだと感じます。東北大の女子学生が
東北大のボクを訪ねて来て、かた地形をたいと
いって話をした。その頃、ESR年代測定といて
岩石学が年代測定の方法とろうと
話に、今はドイツの研究機関にいます

形に入ることにはむずかしい、強く感じます。
時代、帯をほくは南、北、東、西のどつどつと、
地形の研究は成因だと、形そのものを研
究するのはむずかしい。形そのものをフラクタル
幾何から表現したとしても、それは形を
単純化したものであって、形そのものが、ほくには
わかりません。ドリーネはいかにも身ごまか
のギョを彷彿とさせる。自然界の神技に
感銘というのか。太陽や月が真田とほく



二と、神性を見つととのつが子のか。
千枚皿、鍾乳石、...

他の地形ドメインで加戸地形と同等
の形を捉えや亦もの付みつから居い、アホね。
三浦先生が山口県御出身が、山口の學術
の道を歩んで来たことと見ると、加戸
研究は必然のこと。故に岩元同先生が
秋吉洞の ESR 年代測定を試みられた
了解です。

厚くは鹿見島の米谷静二先生に物念
好いことがありました。ヒューリックの研究が
あり、R. J. Russell が世界満遊をした時、
米谷先生が奄美と一緒にされたことが
あり、その時つからして、後に笠利半島の
“発見” 地理学評論に出された。厚くは半論
で、沖永良部島の海岸地形、海岸段丘を見
たりました。トウ、奄美の島々を巡り、沖
永良部の人々の最も優しかったからあり。

厚くは見本秋吉台、大切に扱われていた
ことが。麻島原 (p.15)、氷食地形用語
のから、羊蹄岩にふさわしいと思ふ。
羊蹄原のことが。
御自愛下さい。